

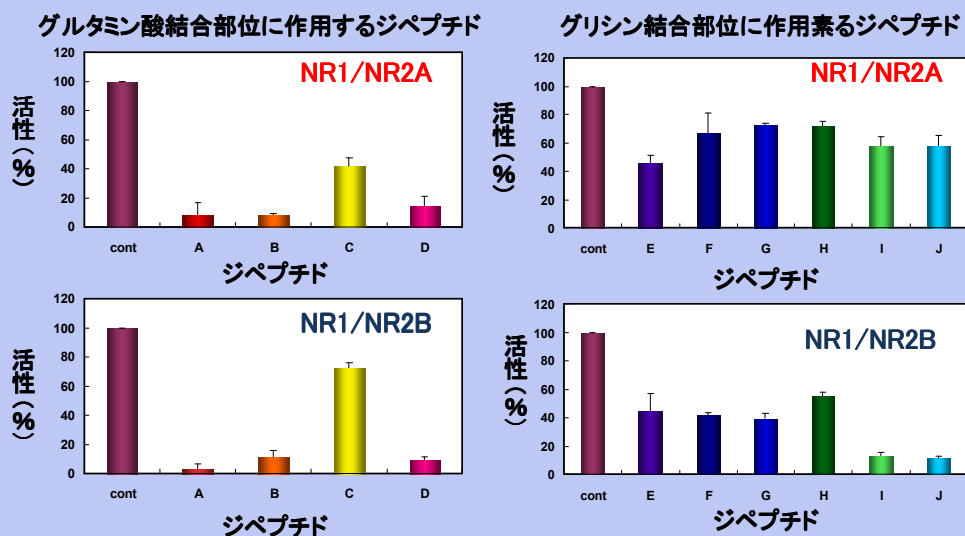


医薬組成物および保健機能食品の添加物

キーワード ジペプチド、NMDA 型グルタミン酸受容体

認知症・精神疾患治療薬、脳機能改善のための機能性食品としての“ジペプチド”の利用

研究内容の概要：血管性認知症、アルツハイマー型認知症などは神経細胞が減少し、神経伝達物質も減少している。また、うつ病や統合失調症のような神経疾患は脳内受容体の不全が原因と考えられている。ヒトの記憶や学習に重要な働きを示し、認知症や精神疾患の発症にも関係している NMDA 型グルタミン酸受容体に対しアンタゴニスト(拮抗作用)を与えることで認知症への効果、アゴニスト(作動作用)を与えることで神経疾患への効果が期待できる。天然に多く存在するジペプチドの中から新たに NMDA 型グルタミン酸受容体に対して生理活性のあるものを見つけ出し、医薬品として、あるいは保健機能性食品として食生活に応用することで、副作用のない穏やかな効果が期待できる。



特長／効果

- アミノ酸のみで構成されているため安全性が高い。
- 天然(植物、発酵生産物)に存在する。
- 作用が穏やかである。

利用／用途

- 認知症、精神疾患の治療薬
- 脳機能改善のための機能性食品、サプリメントの成分
- リラックス効果を持つ機能性食品、サプリメントの成分

知的財産権等情報		工学部 生物化学工学科	山田 康枝
特許出願	特開 2009-209131	http://www.hiro.kindai.ac.jp/faculty/facultyguide/biochemical/index.html	
論文等	1 編		
連絡先： 近畿大学 リエゾンセンター(KLC)		〒577-8502 大阪府東大阪市小若江 3-4-1	
		TEL:06-6721-2332 FAX:06-6722-0300	
e-mail: klc@itp.kindai.ac.jp		URL: http://ccpc01.cc.kindai.ac.jp/KLC/index.html	